

令和5年度登録分



国登録有形文化財

建造物等

樹木

風景と視点場

① 養林寺の山門

大胡エリア

〔堀越町1256 17世紀初頭（江戸時代）〕

大胡城主・牧野家の菩提寺である養林寺の山門とその参道沿いには、大きな松のほか桜やサルスベリなど多くの花木が植えてあり、四季折々の花が咲く。

ここが
魅力！

山門は茅葺き保護のために現在は屋根がトタンで覆われているが、その躯体には桃山文化の特徴がみられる。



② 広瀬川美術館



前橋市中心部

〔千代田町三丁目3-10 昭和23年〕

昭和23年に建設された画家・近藤嘉男氏のアトリエ兼住居。平成11年に戦後の建物としては全国初となる国の登録有形文化財に登録された。

ここが
魅力！

戦後の前橋市の文化・芸術の記憶を有する建造物で、北側を流れる広瀬川とともに落ち着きのあるたたずまいを見せる。



③ 前橋公園のハクモクレン

前橋市中心部

〔大手町三丁目 楽歩堂前橋公園〕

臨江閣南の日本庭園に植えられている。周囲よりも一段低い位置に植えられているが樹高が高いため、3月中旬には白い花が咲き誇る様子を南の交差点付近から見る事ができる。

ここが
魅力！

春になり暖かくなり出す頃、臨江閣をバックに白い花が咲き誇る姿を見ることができ、「前橋に春を告げる花」として親しまれている。



④ 上毛三山と前橋市街地の眺望

前橋市中心部

〔大手町一丁目 群馬県庁〕

群馬県庁32Fの展望ロビーを視点場とする風景。東西南北にロビーを移動するだけで、前橋の市街地や上毛三山などの山々を一度に見渡す事ができる。

ここが
魅力！

これだけの高さからの風景はこの視点場ならではの、ここから見る夜景もまた美しい。



⑤ 深津稲荷山から望む赤城山

粕川エリア

〔粕川町深津〕

赤城山の噴火によって形成された丘陵「流れ山」の一つである深津稲荷山を視点場とする風景。小高く視界が開けているために眺めが良く、赤城山全体を見ることができる。

ここが
魅力！

赤城山をパノラマで見ることができるため、ここからの赤城山の写真が刊行物の表紙に使われたこともある。



⑥ 苗ヶ島町のヒガンバナ

宮城エリア

〔苗ヶ島町〕

中秋の頃、苗ヶ島町の土手や道端で見られるヒガンバナの群落。その花が咲き乱れる風景は、この時期の赤城山麓を代表する田園風景である。

ここが
魅力！

空の青、赤城山の緑、稲の黄、ヒガンバナの赤で構成される風景は赤城山麓の秋の風物詩と言える。



⑦ 前橋公園（さちの池）と榛名山

前橋市中心部

〔大手町三丁目〕

前橋公園は花見の時期になると多くの見物客でにぎわう。前橋城の土塁の残るさちの池の東側から公園を見渡すと、桜のほかに利根川沿いの新緑や、遠くに榛名山を望むことができる。

ここが
魅力！

公園内の桜のほか、芽吹き始めた川沿いの木々や霞む榛名山の姿が春の風情を漂わせる。



⑧ 群馬大橋付近から望む赤城山

前橋市中心部

〔石倉町三丁目〕

群馬大橋の利根川右岸側渡り口から対岸を望むと、利根川と前橋公園や県庁が見え、そのバックに赤城山を望むことができる。

ここが
魅力！

ここから見る赤城山は鍋割山を中心に据えた姿をしており、季節や天候で違う表情を見せる。



前橋市中心部

②広瀬川美術館



③前橋公園のハクモクレン

④上毛三山と前橋市街地の眺望

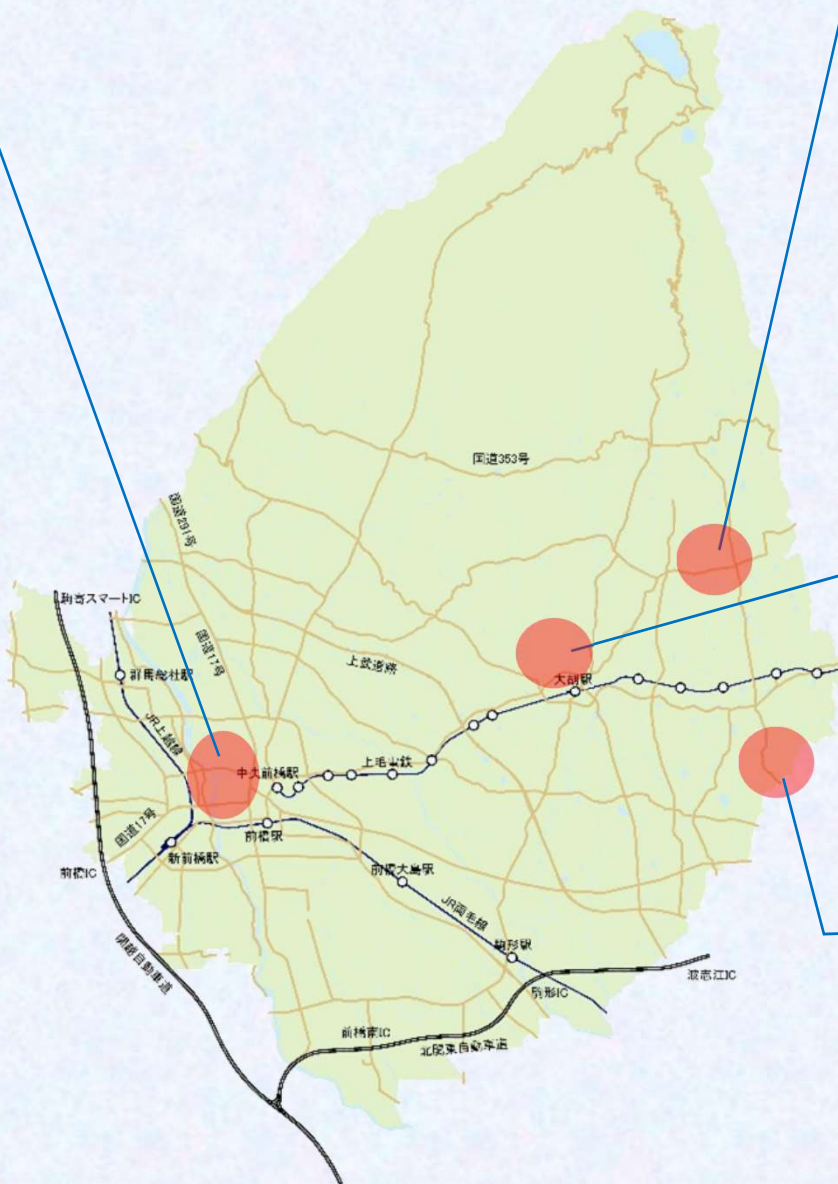
⑦前橋公園（さちの池）と榛名山

⑧群馬大橋付近から望む赤城山



前橋市景観資産登録制度

令和5年度登録景観資産マップ

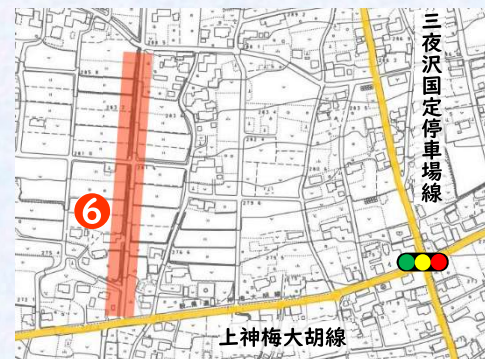


過去に登録した景観資産等や新規募集など、景観資産登録制度に関する情報については、こちらのサイトをご覧ください。

前橋市都市計画課景観・歴史まちづくり係

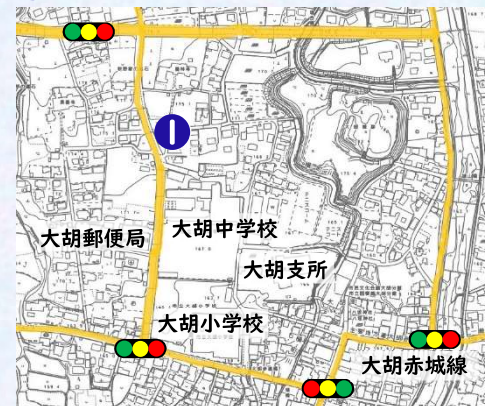
宮城エリア

⑥苗ヶ島町のヒガンバナ



大胡エリア

①養林寺の山門



粕川エリア

⑤深津稲荷山から望む赤城山

